



Rotary 川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日:毎週水曜日 PM12:30~

例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館

事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/>

E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 竹田 正和
副会長 矢野 清久
幹事 須山 文夫
SAA 中村 孝

第2068回（本年度 第16回）例会 平成27年10月28日 一晴れ一

●司会 中村 孝 SAA

●点鐘 竹田 正和会長

こんにちは、雲一つない天気恵まれました。

今日が最後のクールビズですので、名残惜しくクールビズにしてみました。それでは例会を始めたいと思います。

●斉唱 奉仕の理想

坂東 保則ソングリーダー

本日の卓話者紹介

竹田 正和会長

トウルスペコフ カリムジャン様

米山奨学生、現在横浜商科大学に在学中です。

ゲスト紹介

竹田 正和会長

地区米山奨学金増進委員 谷川 操一様(横浜中RC)

地区米山奨学金増進副委員長 牛山 裕子様(川崎大師RC)

ご挨拶

谷川 操一様

はじめまして、横浜中ロータリークラブからまいりました谷川と申します。

現在カリムジャン君のカウンセリングをやっております。今日は彼が米山月間にあわせまして彼が卓話に来るということで、彼が何かあったらコールすると牛山さんから言われまして参りました。

こちらは増進の寄付もしっかりとやっているということで感心してやってまいりました。

今日はひとつよろしくお祈りします。



来訪ロータリアン紹介

水口 衛親睦委員

川崎マリーンRC 中條 藝立様

会長報告

竹田 正和会長

・スポンサーバッチの授与を行います。

嶋崎 嘉夫会員、黒澤 穰会員の紹介者です。



・全国ロータリークラブ野球大会のご案内が届いております。野球部の方はご検討いただければと思います。甲子園球場で日程は未定と書いてありました。

・10月23日金曜日に佐沼ロータリークラブの会長、幹事はじめパスト会長の方々にお世話をいただき、今年度当クラブが申請した地区補助金プロジェクトの南三陸町立戸倉小学校への教材用宮太鼓及び教育三味線セットを贈るために南三陸町役場並びに戸倉小学校を訪問してまいりました。

詳しいことは後ほど社会奉仕委員長から報告があります。行きがけの新幹線の中で小野寺元防衛大臣と一緒に、写真を撮ったり握手をしたりと楽しい時間を過ごしました。帰りはゴルフで有名な内藤雄士さんと一緒でした。

・第38回川崎市民祭りの開催と協賛御礼が川崎市民祭り実行委員会より届いております。

・昨日、第4回の第1グループの会長幹事会が開催されました。当クラブ、10月の出来事を報告してまいりました。南三陸町他です。11月のスケアードストレートも見守っていて欲しいと申してまいりました。

幹事報告

須山 文夫幹事

- ・11月のロータリーレート 今月同様1ドル120円です。
- ・横浜東ローターアクトクラブ 11月第1例会のご案内
11月4日 20時よりキャメロットジャパンにて
内容：スーツの基本の卓話
案内を事務局に保管しておきますのでご興味のある方はお声掛けください。
- ・川崎南ロータリークラブより自殺防止セミナーのご案内をいただきました。
11月5日 15時～16時 サンピアン川崎にて
興味のある方は受付のカウンターにチラシを置いておきますのでお持ちください。
- ・11月30日 3クラブ親睦合同例会、申し込みが今日までです。まだ出欠を書かれていない皆様、必ず今日書いていただきますようお願いいたします。
お弁当など頼む関係でキャンセル、追加などできませんので重ねてお願い申し上げます。
- ・他クラブの例会変更 回覧 メイクアップ等にご活用ください。他クラブからの週報がきております。そちらもご覧ください。

出席報告

高濱 玲奈出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2068回	58	48	32	16	66.66%
2066回	58	49	26	23	53.06%
前々回の修正 メイクアップ 12名			修正出席率 77.55%		

メイクアップ：鈴木（幹）会員、林会員、安藤会員、細谷会員、横山会員、渡辺会員、白石会員、岩井会員、船木会員、坂東会員、竹内会員、大崎会員

スマイルレポート（ニコニコボックス）

矢野 清久副会長

横浜中RC所属 谷川 操一殿

お世話になります。本日の卓話者のカリム君、カウンセラーとして参りました。

川崎マリーンRC所属 中條 藝立殿

本日はおじゃましました。よろしくお願い致します。

渡辺 富士夫会員

米山奨学生カリムジャン君卓話宜しく。
明日7クラブゴルフ皆様、頑張りましょう。

横山 俊夫会員

チャリティディナーパーティご出席の皆さん、楽しかったですね

牛山 裕子会員

横浜中ロータリークラブ・谷川操一様カリム君のアテンドをして下さいますありがとうございます。

私共の例会をお楽しみ下さい。

松井 昭三会員

24日に世界遺産のハロン湾をクルージングして参りましたが、ティエン・クン（天宮）の鍾乳洞は天井が50m以上ある立派な洞窟でした。（萩の秋芳洞に次ぐ）

野澤 隆幸会員

ことし入会25周年を迎えました。クラブから心のこもった記念品をいただきました。有難うございます。これからもよろしく願いいたします。

松本 和晃会員

すてきなお花が届きました。ありがとうございます。

中村 眞治会員

1. 中條さん、ようこそいらっしゃいました。大歓迎。
2. 10月は新潟で全国大会、11月はハマスタで神奈川大会、野球部をヨロシク願います。

竹田 正和会長

- ・トウルスペコフ・カリムジャン様、本日は卓話よろしく願います。
- ・牛山様、谷川様、付添いありがとうございました。
- ・中條さんようこそ！！
- ・南三陸町「心の復興」プロジェクト無事終わりました。参加委員会の皆様お疲れ様でした。
- ・10月26日ディナーパーティ参加の皆様お疲れ様でした。

矢野 清久会員

早いもので、本年のクールビズも最終日となりました。次週より首を引き締めての例会出席をお願い致します。

本日のニコニコのテーマ

「本日は米山記念奨学金について勉強致しましょう。」

水口 衛会員、坂東 保則会員、金澤 康治会員
大藪 善一会員、鈴木 昇二会員、鈴木 幹久会員
出井 宏樹会員、竹中 裕彦会員、磯田 稔会員
秦 琢二会員、嶋崎 嘉夫会員、石渡 勝朗会員
黒澤 穰会員 合計 45,000円

委員会報告

中村 孝 SAA

社会奉仕委員会

船木 幸雄委員長

こんにちは、23日に南三陸に行ってまいりました。地区の補助金を使った心の復興支援で南三陸、新戸倉小学校に教材用の和太鼓、三味線などの寄贈に訪問してまいりました。先ほど会長も言っていましたが、新幹線で大宮から見たことのあるような人が乗ってきたので、声をかけました。

小野寺前防衛大臣がいました。現在、震災復興本部で役をやってらっしゃって、選挙区が東北のため、たまたま一緒になりました。いろいろロータリーのことも話をしてみいました。楽しかったです。

栗駒高原の駅で佐沼ロータリーの役員やパスト会長など10人ほどにチャーターバスで出迎えてもらいました。記念写真を撮り、佐沼ロータリーの例会場に立ち寄りしました。

その後30~40分かけ南三陸に向いました。各テーブルに写真だけ置いてございますのでご覧になってください。役場に到着後、副町長や教育委員会の方々が出迎えてくださり佐藤町長に目録を贈呈してみいました。いろいろ交流をはかることができました。

その後小学校へ向かいました。校長、副校長、小学生が出迎えてくれ笑顔で挨拶をしてもらいました。寄贈品の前で写真をとってきました。奉仕活動ができたと思っております。

土倉小学校は69名の児童がいます。震災で流れましたが、当初あった場所より30メートル以上の高台に新設しました。山を切り、山を切った材木(杉)を全部使った木造の体育館です。非常に素晴らしい体育館でした。今児童は登米市からマイクロバス3本系統で1時間かけて通学をしているそうです。

エイジングプログラム委員会 鈴木 幹久委員長

エイジングクラブ開催の案内をしたいと思っております。今月初めの理事会で了承いただきました。

基本は当クラブ70歳以上の会員の方対象で、川崎大師エイジングクラブ第1回の開催案内です。70歳以上となっておりますが、70歳以下でも私共拒みませんので声をかけていただければと思います。

350年の歴史をもつ老舗の料亭「恵の本」で大師における名物料理、今が旬のハマグリでの浜鍋を試食していきたいと思っております。

日 時：平成27年11月10日(火) 午後6時より

場 所：日本料理「恵の本」川崎市川崎区大師本町9-12

会 費：9,000円

参加年齢は問いません。また奥様もお誘いいただき、是非一緒にご参加くださいますようお願い申し上げます。

クラブ研修委員会 鈴木 昇二委員長

ご案内が遅くなりました事お詫びいたします。

今年度第1回の研修会、ファイアーサイドミーティングを10月30日から11月9日の間、4グループに分かれて実施いたします。

急で申し訳ありませんがもし自分のグループの都合が悪い日は必ず別のグループに参加していただき、全会員必ず1回は出席するようお願い致します。

卓話者のご紹介 坂東 保則米山奨学事業委員長

米山月間ということもありましてカザフスタンよりお越しのトゥルスペコフ・カリムジャンさんにお越しいただきました。

カザフスタンで生まれ、10歳で日本に来られ15歳で日本の中学校を卒業されています。その後高校はアメリカに行かれアメリカの高校を卒業され、更に短大まで行かれています。短大では特に英語を勉強されその後一度カザフスタンに戻られました。

現在は米山奨学生学生2年目ということですので。

今日カウンセラーとしてお越しいただいています谷川さんが所属する、横浜中ロータリークラブが世話クラブとなっています。

カリムジャンさんは(1989年)平成1年5月17日生まれ、26歳です。横浜市神奈川区にお住まいです。今現在横浜商科大学・商学部・貿易観光学科に在学中で特にITを駆使して貿易を勉強しています。

現在4年生ですから就職活動が大変なようですね。将来は外資系の会社で観光業をやりたいという大変積極的な大学生です。

今日はカザフスタンについてと米山奨学生になって感じた事というテーマでお話をいただくこととなります。

ぜひ宜しくお願いします。

卓 話

米山奨学生 トゥルスペコフ カリムジャン様

こんにちは、横浜中ロータリークラブにお世話になっている、トゥルスペコフ・カリムジャンと申します。本日、このような場でお話する機会をもうけていただきありがとうございます。私自身、大変貴重で光栄だと感じています。

私は現在横浜商科大学に通っています。横浜商科大学では観光と貿易を学んでいます。私が観光・貿易学科を選んだ理由は2つあります。

一つ目は、私はカザフスタン人ですが、中学校生活を日本、高校生活をアメリカで過ごし、様々な国や人と交流してきました。その経験からそれぞれの国の文化や価値観の違いにとっても興味を持ち観光と貿易は”国際交流”と密接な関係があると思いこの学科を選びました。

二つ目の理由は、様々な国の人と交流してきた中で、



”カザフスタン”という国を知らない人がたくさんいる事に悔しさがあり、少しでも母国の事を広めようと思いました。そのため観光や貿易について勉強し将来は国際的な仕事に就き、自分の国をアピールし知ってもらおうと考えています。

私は日本に来て、カザフスタンという国はやはり知名度があんまり低く、いいイメージをもたれてません。中東なので戦争とか砂漠が多いとか色々言われることがあります。しかし、そんな事ありません。現在はカザフスタンは大変向上発達しています。石油、天然ガスなどエネルギー源に恵まれてる資源大国です。それのお陰で、日本と関係も密接であります。



カザフスタンは人口1600万人と少ないですが、世界で9番目の大きさを誇り、元ソ連に値し中東にあります。元ソ連の影響もありロシア語を話せる人が90%以上です。私もロシア語とカザフスタン語を話せます。多くの皆さんはロシア語とカザフスタン語は同じ言語だと思いがちですけれども、まったく違います。例えば、カザフスタン語で「こんにちは」はサレメッスィズ、ロシア語はズドラーストヴィチェと言います。しかし、今のカザフスタンではソ連の影響もありましてロシア語をメインで話すことが多いです。

2011年に冬のオリンピック開催されました。日本からも多くの選手が来まして、その時に調度私もカザフスタンにいました。試合あんまり見ることでできませんでしたけど。私のお兄さんが日本人の通訳をしてました。私、寒いのが苦手なのでずっと家にいました。カザフスタンでは寒くなるとマイナス10~20とかになることもあります。



また、2017年6月から9月まで、黒川記章氏が設計した首都、アスタナで、「2017アスタナ国際博覧会」が開催されます。

中央アジア、更に旧ソ連の中では初めての万博です。



宗教は70%がイスラム教、キリスト26.2%となっています。イスラム教といえば、豚肉、お酒、禁じられてるといイメージですけど。カザフスタンではそれを守る人達が減少しております。自分も豚肉もお酒も大好きです。皆さん一度聞いた事あると思いますけど、イスラム教ではラマダンというのがあります。ラマダンというのは、明るい時間の飲食を禁じている期間のことです。アラブといった多くの国ではこの時期、昼間はレストランなど外食業がすべて閉まってしまう。しかし、カザフスタンでは閉まっていません。

カザフ人は一部の人しか断食しません。私も小さい頃1回ラマダンやったことがありますけれども、すごく大変でしたし断念しました。

日本とカザフスタンの食文化も全く違います。カザフスタンの主食はパンで、魚などほとんど食べることがありません。

私も、日本に来て始めて刺身といった生魚や馬刺しを食べました。つい最近まですごく嫌いでしたけど。居酒屋のアルバイトでのきっかけで好きになりました。

その代わりにカザフ人は肉をたくさん食べます。カザフスタンでは「オオカミの次にたくさんの肉を食べるのはカザフスタン人」ということわざもあるくらいです。

特に馬肉料理が有名です。「カズ」と呼ばれている。保存肉のことです。馬肉に塩、こしょう、にんにくをまぶし、腸に詰めて2～3時間弱火で茹でたものです。



2ヶ国語を多用しているカザフスタンでは学校もロシア語とカザフスタン語の2つに分けられています。因みに、私はロシア語の学校に通っていましたが、私のお兄さんはカザフスタン語の学校に通っていました。

カザフスタンは日本と教育文化が違います、まず第一に挙げられる例は学年の始まる日が日本は4月ですけれども、カザフスタンは9月1日です。

日本は3学期制ですけどカザフは4学規制で夏休みは6月～8月の3ヶ月です。

学校教育は日本と同じく小、中、高と同じですけれども、計11年間と日本より1年少ないです。高校は2年生に卒業し、後の1年間は軍隊に行かなくてはなりません。私は高校海外で卒業したので軍隊には行っておりません。私はカザフスタンに10歳まで住んでました。10歳の時に親の影響で日本に来日することになりました。

全く知らなかった日本。とても不思議な文化やカザフスタンと違う食事。言語もわからなかったのが最初は戸惑いを感じました。

例えば、丁寧な礼儀や上下関係がちゃんとしてたり、建物内での土足は駄目だったり、お風呂の使い方などが不思議に感じました。食で言えば生魚や納豆といった不思議な食べ物があって違和感を感じました。

でも、僕も1、2年経つと不思議にその文化に馴染んできましたし、それが日常になって、今では日本の文化を好きになりました。こういった所が自分の心得の変化だと思いました。

中学校を卒業した後、新たな挑戦、経験をしようと思い高校生から短期大学までアメリカに留学しました。すぐにアメリカの高校に入りましたが英語も全然しゃべれず、上手くコミュニケーションが取れなかったです。

アメリカ人は日本と違ってノリは良く、学校では話しかけてくれますけど、その後の長い付き合いをしてくれる人が少なかったです。

だが、アメリカの留学をきっかけに多国籍の友達がいっぱいでき、その人達と一緒に英語を学び、だんだんアメリカンライフに慣れてきました。カザフスタン、日本、



アメリカとそれぞれ長く住んでいましたが、私にとってやはり「日本」が一番居心地良く感じました。設備も勉強する環境も整ってる日本で勉強し、就職したいと考えました。

現在は、「観光」を学ぶために横浜商科大学に通っています。外国を通じて私から見てカザフスタンという国は世間にはまったく知られていないと思いました。そのため、観光という分野を勉強し、将来はカザフスタンという国を世界中のみんなに知ってもらうために何か貢献できたらいいなと思っています。

そのために、今以上の国際交流をし、日本の有名観光地を自分の目で見たいです。

私は、米山奨学生となって1年半が経ちました。

奨学金を頂く事により、経済的に安定し精神的にもゆとりを感じながら、学生生活をエンジョイすることが出来るようになりました。

奨学金は主に生活費に充てておりますが、お陰様でアルバイトをする時間を減らすことが出来、その分、勉強に励むことが出来ております。

また、ロータリアンの方々や、友人達との交流が増えることで、視野も広まり、他の留学生にできない社会勉強も出来、大変恵まれていると感じています。

特にロータリアンの方は、人生経験も豊富で社会的地位もある立派な方たちなので、例会ではいろんなことを学ばせていただき、私も少しでも近づけるように、自分からも積極的に多くのことを学ぼうという気持ちで、例会に望んでおります。

お陰様で、自分の考えも定まり、将来の夢も明確になって来ており、私自身の成長できていると感じ、大変嬉しく思っております。

このように、世話クラブの横浜中ロータリークラブでは、皆さんの奉仕活動にも参加させていただきながら、今まで経験したことの無い沢山のことを学ばせていただいています。これは米山奨学生であるからこそ出来たことであり、大変貴重なことであると感謝の気持ちで一杯であります。

9月12日には横浜中ロータリーの方が10人程で、私の母国、カザフスタンを訪れてくれました。日本でお世話になっている分、皆様に喜んでいただけるよう精一杯おも

てなしをし、ちょっとでもカザフスタンについて理解し、好きになってくれたと思います。
川崎大師ロータリーの皆さんも是非、カザフスタンに来てください。



米山奨学生として、あと半年お世話になりますが、一人でも多くのロータリアンの方と接し、沢山のことを教えて頂きながら、観光の知識や経験を積んで、将来は自分の観光会社を作りたいと考えております。

私は、カザフスタンと日本が大好きです。そのため、将来はこの二つの国が更なる交流と発展が出来ますように、米山奨学生の経験を活かし、両国の架け橋になろうと思っております。私自身も自分に出来る事を探し出し、貢献していきたいと肝に命じております。

最後になりましたが、日本に住む留学生が沢山いる中から、米山奨学生として選んでいただいたこと、たくさんの経験・交流をさせていただいたことに大変光栄に思っており、心より感謝申し上げます。

米山奨学生としての自覚を生涯忘れることなく、自信をもって、いつかこの米山奨学生を支えて下さっている、日本のロータリークラブに恩返ししていきたいという決意に溢れております。

また、米山奨学生を支えて下さっている皆様方に恥じぬよう、国を背負っている位の気概をもって、これからの残り少ない学生生活を邁進して参りますので、今後共、宜しくお願いたします。本日は有難うございました。

質疑応答

竹田 正和会長

Q：安部首相が行っているの？

A：昨日、一昨日と行ってのようですね。

Q：人口はどれくらいですか？

A：1600万人です

Q：北朝鮮と同じくらいかな？

A：そうです。

ちなみに韓国は5000万位いるのでしょうか？

北と両方で7000万位とっていましたよね。

Q：カザフスタンはどのように行くのですか？

経由する飛行場は？

A：まずカザフスタンに行くときは直行便はなくて韓国経由かドバイ経由かインド経由になります。

韓国経由で11時間ほどですがドバイ、インド経由で24時間かかります。しかしそちらの方が安いです。

Q：国内的に見て治安やインフラはどのような感じなのですか？

A：治安はすごく悪いというイメージなのですが中央アジア、中東アジアの中で一番安全な国です。

その部分に関してはすごくいいと言えます。日本よりはとは言えないのですが良いと言えます。

治安は安定しています。

謝 辞

竹田 正和会長

素晴らしい景色でしたよね。日本にはない、氷の国のようなイメージですよ。絵は感動です。

勉強一生懸命行ってください。

ひとかたの経営者になっていただければと思いますし、更に言えば日本とカザフスタンの懸け橋にどうしてもなってもらいたいと思います。

末はロータリアンということ。

ありがとうございました

●点 鐘 竹田 正和会長

谷川さん、どうもありがとうございました。

牛山さん、ありがとうございました。

そして中條さん最後までのおつきあいありがとうございました。

それでは本日の例会を閉会します。

日時：平成27年11月14日(出)は

移動例会 地区大会です。

本会議 登録開始：12:00

点 鐘：13:00

場所：パシフィコ横浜会議センター

※ご注意ください。
平成27年11月11日(水)は
例会はありません。



秦 琢二/坂東 保則/水口 衛/松本 和晃